

## 授業改善等に関する報告書（2021 年後期）

## 授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2021（後期）教職課程] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
教職実践演習（栄養）	清田 夏代, 白尾 美佳	・授業評価の結果については、概ね納得している。今後もこうした評価を得られるように努力していきたい。（清田）
美術科教育法（４）	中村 一哉	「美術科教育法（４）」は、これまで学習してきた美術科の指導法等の学修の仕上げの講義です。（１）で学んだ教材理解、（２）で学修した授業づくりの基本を踏まえながら、指導案の作成や模擬授業を通して、実際に授業ができる指導力を身に付けることが主なねらいでした。今年度は、受講者が12名と多かったため、一人1時間の模擬授業を行うことが出来ず、グループでの授業としたため、やや行き届かない面があったかもしれません。ただし、よく相談して授業について考え、準備できたグループでは、個人で行なうよりも授業理解が深まったように感じられました。そのウォーミングアップとして行った「魅力ある授業」についてのグループ協議と発表では、模擬授業に向けた課題が発見できたと思います。じきに教育実習となりますから、各自がこの授業の成果を確認しながら、実習に臨んでくれることを期待しています。
教育方法・技術論	柄本 健太郎	<p>本授業は、教職課程において「理論に基づいた授業の設計・実施・改善を、ICTを用いて実践できること」を目標に、学習指導案の作成、模擬授業の実施、ICTの活用を具体的な課題としていました。</p> <p>(1) 教育効果の向上を目的として実施した工夫や取り組み等</p> <p>本授業では教育効果の向上のため、以下のような工夫や取り組みを行っていました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワーク：ペアワークの導入により、他者の作成物を見る機会を得たり、他者と相互に評価し合う機会を得たりすることで、自分の制作物を客観的に見る力を得ることに加え、建設的な議論を行う力を得ることを狙いました。</li> <li>・ICTの体験：授業の中で、クラウドを前提としたドキュメント、フォームや、スライドを活用した動画作成を体験してもらいました。体験により、GIGAスクール構想に基づく学校現場の急速な変化への対応力を促進させる効果を狙いました。</li> <li>・その他の工夫：模擬授業の導入、学習指導案のテンプレートの提供、タイマーでの時間管理</li> </ul> <p>(2) 学生の要望に対する対応（フィードバック）等</p> <p>本授業では、MANABA上のやりとりや、対面でのやりとりを通じて学生の要望を随時得ることで、即時もしくは次回授業までに対応しました。</p> <p>(3) 学生からの授業評価</p> <p>【みなさんへ】半期おつかれさまでした。作成した学習指導案、模擬授業の経験、IDの理論と、今後の実習等での学びを組み合わせ、今後ががんばってください。また、いただいた授業アンケート結果を基に、来年度に向けて、具体例のさらなる提供など、より説明のわかりやすさを向上させたいと考えています。</p>
教育方法・技術論	宮脇 郁	<p>わかりやすい授業を心がけていますが、理解度、満足度ともにまずまずの評価をいただけてよかったです。ただこれに満足せずに、もっとわかりやすく、楽しい授業を目指していきたいです。この授業の一番の山場は模擬授業の実施ですが、模擬授業を実際に行うことで、授業方法が一通りわかったというご意見をいただいたので、やはり座学のみでなく実際に経験することが大事だと改めて実感しました。</p> <p>課題が多い上に模擬授業も実施してもらおうということで、受講生の皆さんにとっては少し大変な授業だったのではないかと思います。ほとんどの皆さんは欠席回数が少なく、課題もきちんと提出していて、とてもがんばっていたと思います。</p> <p>この授業は基本的には対面で、模擬授業はZoomで実施しました。実施方法のアンケートについては、皆さんからいろいろなご意見をいただきましたが、対面がふさわしいという人が割と多かったです。特に模擬授業については、Zoomでの実施は特有の難しさがあるので、対面の方がいいという考えの方がいらっしゃいました。その意見はよくわかります。ただ一方で、今後は教育の情報化がどんどん進んでいき、ICTを活用した双方向授業の機会も増えてくることが予想されますので、在学中にこのようなZoomでの授業を経験しておく必要もあるように思います。コロナの感染状況も踏まえながら、今後の模擬授業の実施形態を考えていきたいと思います。</p> <p>皆さん半期の間ありがとうございました。</p>
国語科教育法（４）	渡邊 重人	<p>今年度の授業は対面授業が中心となりましたが、話し合いなどの活動ではGoogle Classroomを活用し、リアルタイムでのやりとりを記録し、全員で共有できるよう工夫しました。しかしながら、アンケート集計結果では、「Ⅱ.この授業の内容と方法について 8.双方向授業（質問のしやすさ等を含む）等の工夫がされていたか？（manabaの掲示板、個別コレクション等の利用を含む）」が3.86ポイントであり、より一層の工夫が必要であることがわかりました。全体的な満足度を高めるためにも、manabaやGoogle Classroomを活用することで質問しやすい環境を作り、双方向授業の質を高める工夫を図るようにします。</p>
教育課程論	清田 夏代	授業評価の結果については、概ね納得している。今後もより良い授業ができるよう、工夫していきたい。

## [2021（後期）教職課程] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
教職実践演習（中・高）	清田 夏代	授業評価の結果については、概ね納得している。今後もより良い授業ができるよう、工夫していきたい。
英語科教育法（４）	中山 誠一	コロナ禍ということで、途中から対面授業が叶わなかったにもかかわらず、履修いただいた学生の皆様のご協力により、なんとか最後まで授業を進めることができました。まずはご協力に感謝申し上げます。今後はご指摘いただいた点を踏まえて、授業改善に取り組みたいと思います。
介護支援基礎論	柏崎 秀子	全体的に見て、ほぼ平均前後の結果で、一定の水準だったとわかりました。ただ、授業スピードの点で改善が求められているようです。この科目は7回完結のため、コンパクトに様々な内容を取り上げるため、学生にはスピードが速く感じられるのだらうと推測します。もう少し取り上げる内容を絞り込もうと思います。 ちなみに、しっかりと予習復習をすることで、授業が理解しやすくなりますから、是非、予習復習によく取り組んでもらえたらと思います。
家庭科教育法（３）	市毛 祐子	実際に模擬授業を行うと、学習指導案どおりに授業が進まなかったり、自分の説明が思うようにできなかったりなど、「教える」ということは、頭で考えていたよりはるかに難しいということを実感したと思います。と同時に、他の人の模擬授業から多くの気づきを得られたことでしょう。学習指導案の作成や、教材研究などで忙しかったことと思いますが、この授業を通じて、専門的な内容はもとより、課題をこなす上での時間の使い方や、優先順位のつけ方なども身についたことと思います。こうした気づきや学びをこれからの様々な場面で思い出し、活かしてくれることを願っています。
教職実践演習（中・高）	中村 一哉	「教職実践演習」は、教育実習の体験を踏まえながら、それをさらに深めて、教職の実践力をしっかり定着させることが主なねらいです。その意図から、まず「望ましい教師像」について、グループ協議を通して考え、それを各自がまとめ発表する取組を行いました。これまでの学修成果と教育実習の体験を踏まえながら、教職課程の学びを総合的にまとめることが出来たと思います。授業については、都内の美術の授業を見学しましたが、授業理解を深めるには、よい授業を見ることが大切であることが実感できたと思います。今回は、特定の生徒に焦点を当てて、授業記録を取りながら見学しましたが、その経験は、これまでとは違う角度で授業を見つめ直す機会になったと思います。後半は、具体的な指導の在り方を、演習を通して学びました。学校の課題の複雑さ実感してもらえたことと思います。ぜひ、この講義の経験をこれからのそれぞれの道で生かしてほしいと思います。
英語科教育法（１）	中山 誠一	コロナ禍ということで、途中から対面授業が叶わなかったにもかかわらず、履修いただいた学生の皆様のご協力により、なんとか最後まで授業を進めることができました。まずはご協力に感謝申し上げます。今後はご指摘いただいた点を踏まえて、授業改善に取り組みたいと思います。
特別支援教育論	柏崎 秀子	全体的に平均かそれ以上の結果で、やりがいを感じました。ただ、授業スピードの点で改善が求められているようです。確かに、この科目は学ぶべき内容が非常に多いのに7回完結なので、かなり厳しい状況ではあります。新カリキュラムで初めて実施した科目ですので、どのように内容のエッセンスを簡潔に伝えられるか、検討していきたいと思います。 なお、コメントでは、馴染みのない特別支援学校や障害についてよく理解することができた、言葉は知っていてもその意味や状態までは理解できていなかったが、この授業を通して理解が深まった、などとあり、手応えを感じました。 これからの共生社会を生きるために、是非、学んだ内容を活かしてほしいと願っています。
教育制度（栄養）	清田 夏代	授業評価の結果については、概ね納得している。今後もより良い授業ができるよう、工夫していきたい。
教育課程論	清田 夏代	回答者がいなかったようであるが、複数科目開講されている他の授業の結果を参考に、今後もより良い授業ができるよう、工夫していきたい。
美術科教育法（１）	中村 一哉	「美術科教育法（１）」は、これから（４）まで続く、美術の指導法の基礎を学ぶ講義です。…と言っても、そこで学修した内容は、結構、盛り沢山の、特に前半は、美術教育の流れや考え方、子供の絵の発達など理論的なことが多く、大変だったかもしれません。その中で、何より重要なのは、学習指導要領に対する理解です。それはこれからもついて回ります。例えば、後半の教材研究では、作品を持ち寄りて題材のねらいを考えていきましたが、その際に教材を判断する基準や視点は、学習指導要領の内容が根拠となります。指導法（２）に向けて、もう一度、復習しておいてください。でも、この指導法（１）を通して、美術の教師としての心構えや姿勢はよく学べたと思います。これからは実践になります。引き続き、頑張ってください。
教職研究 e	中村 一哉	「教職研究 e」は、論作文や面接の演習等を通して、教員採用試験に向けた表現力を磨くことを中心とした講義です。最後の振り返りの感想を読ませていただき、皆さんが自分の変化や成長を実感することができたこと、また、自分自身の課題が発見できたことなど、この授業を通して沢山の成果を掴んでもらえたことをとても嬉しく思っています。最初は誰もが緊張感を抱いていたようでしたが、集団面接などの練習を通して徐々に打ち解けていって、それが相乗効果となって皆さんの学びを深めたように感じています。4年になったら教育実習、採用試験など、色々な体験が待っています。ぜひ、この経験を一人一人が発展させて、自分のキャリア形成に役立ててほしいと思います。

[2021（後期）教職課程] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
国語科教育法（1）	渡邊 重人	<p>アンケート集計結果では、「1.あなた自身について 2.あなたのこの授業における週あたりの予習復習時間（レポート課題等含む）はどれくらいでしたか？」が1.05hであり、想定している時間より少なかったことがわかりました。授業実践例の収集、教材研究など予習復習時間は各2hを想定しています。この点を踏まえて改善するために、課題への取り組み方自体（情報収集の仕方などを含む）を授業内で扱うようにします。また、課題への取り組み方がよくわからないというケースについては、manabaやGoogle Classroomなどを活用して質問しやすい環境を作る予定です。</p>
教職実践演習（中・高）	清田 夏代	<p>授業評価の結果については、概ね納得している。今後もより良い授業ができるよう、工夫していきたい。</p>
教育課程論	清田 夏代	<p>授業評価の結果については、概ね納得している。Q9については少し低めであったことについては改善していきたい（同じ授業を他に複数開講しているが、この授業だけ結果が違っていたため、原因を考えたい）。</p>
教育方法・技術論	宮脇 郁	<p>わかりやすい授業を心がけていますが、理解度、満足度ともにまずまずの評価をいただけてよかったです。ただこれに満足せずに、もっとわかりやすく、楽しい授業を目指していきたいです。この授業の一番の山場は模擬授業の実施ですが、模擬授業を実際に行うことで、授業方法が一通りわかったというご意見をいただけたので、やはり座学のみでなく実際に経験することが大事だと改めて実感しました。</p> <p>課題が多い上に模擬授業も実施してもらおうということで、受講生の皆さんにとっては少し大変な授業だったのではないかと思います。ほとんどの皆さんは欠席回数が少なく、課題もきちんと提出していて、とてもがんばっていたと思います。</p> <p>この授業は基本的には対面で、模擬授業はZoomで実施しました。実施方法のアンケートについては、皆さんからいろいろなご意見をいただきましたが、対面がふさわしいという人が割と多かったです。特に模擬授業については、Zoomでの実施は特有の難しさがあるので、対面の方がいいという考えの方がいらっしゃいました。その意見はよくわかります。ただ一方で、今後は教育の情報化がどんどん進んでいき、ICTを活用した双方向授業の機会も増えてくることが予想されますので、在学中にこのようなZoomでの授業を経験しておく必要もあるように思います。コロナの感染状況も踏まえながら、今後の模擬授業の実施形態を考えていきたいと思います。</p> <p>皆さん半期の間ありがとうございました。</p>
教育方法・技術論	宮脇 郁	<p>わかりやすい授業を心がけていますが、理解度、満足度ともにまずまずの評価をいただけてよかったです。ただこれに満足せずに、もっとわかりやすく、楽しい授業を目指していきたいです。この授業の一番の山場は模擬授業の実施ですが、模擬授業を実際に行うことで、授業方法が一通りわかったというご意見をいただけたので、やはり座学のみでなく実際に経験することが大事だと改めて実感しました。</p> <p>課題が多い上に模擬授業も実施してもらおうということで、受講生の皆さんにとっては少し大変な授業だったのではないかと思います。ほとんどの皆さんは欠席回数が少なく、課題もきちんと提出していて、とてもがんばっていたと思います。</p> <p>この授業は基本的には対面で、模擬授業はZoomで実施しました。実施方法のアンケートについては、皆さんからいろいろなご意見をいただきましたが、対面がふさわしいという人が割と多かったです。特に模擬授業については、Zoomでの実施は特有の難しさがあるので、対面の方がいいという考えの方がいらっしゃいました。その意見はよくわかります。ただ一方で、今後は教育の情報化がどんどん進んでいき、ICTを活用した双方向授業の機会も増えてくることが予想されますので、在学中にこのようなZoomでの授業を経験しておく必要もあるように思います。コロナの感染状況も踏まえながら、今後の模擬授業の実施形態を考えていきたいと思います。</p> <p>皆さん半期の間ありがとうございました。</p>
教育相談	柏崎 秀子	<p>全体的に見て、いま一つの印象の評価だったと感じています。担当する科目の中では、この科目は時間的にも内容的にも比較的ゆとりがあるはずなのですが、学生側としてはそうではなかったようです。その理由を考えたところ、教育実習を半年後に控えた3年後期ということで、学外活動で求められる責任感や勤勉さを念頭に置いて進めたのですが、それがあまり認識されなかったのではないかと思います。これを踏まえて、今後はそのあたりをもっとよく伝えるにしたいと考えています。</p> <p>ただ、教育実習では指導教員から厳格に指導されるはずですので、自覚をしっかりと持つようにしてもらえたらと願っています。</p> <p>なお、コメントでは、教育相談の仕方や生徒との関係性や生徒心理などの理解が深まった、自分で調べてまとめたり伝えたりする力が身についた、とのコメントがあり、手応えを感じました。</p>

[2021（後期）教職課程] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
教育方法・技術論	宮脇 郁	<p>わかりやすい授業を心がけていますが、理解度、満足度ともにまずまずの評価をいただけてよかったです。ただこれに満足せずに、もっとわかりやすく、楽しい授業を目指していきたいです。この授業の一番の山場は模擬授業の実施ですが、模擬授業を実際に行うことで、授業方法が一通りわかったというご意見をいただけたので、やはり座学のみでなく実際に経験することが大事だと改めて実感しました。</p> <p>課題が多い上に模擬授業も実施してもらうということで、受講生の皆さんにとっては少し大変な授業だったのではないかと思います。ほとんどの皆さんは欠席回数が少なく、課題もきちんと提出していて、とてもがんばっていたと思います。</p> <p>この授業は基本的には対面で、模擬授業はZoomで実施しました。実施方法のアンケートについては、皆さんからいろいろなご意見をいただきましたが、対面がふさわしいという人が割と多かったです。特に模擬授業については、Zoomでの実施は特有の難しさがあるので、対面の方がいいという考えの方がいらっしゃいました。その意見はよくわかります。ただ一方で、今後は教育の情報化がどんどん進んでいき、ICTを活用した双方向授業の機会も増えてくることが予想されますので、在学中にこのようなZoomでの授業を経験しておく必要もあるように思います。コロナの感染状況も踏まえながら、今後の模擬授業の実施形態を考えていきたいと思います。</p> <p>皆さん半期の間ありがとうございました。</p>
教育原理（栄養）	清田 夏代	<p>授業評価の結果については、概ね納得している。今年度から担当するようになった授業であるが、全7回と回数が少ないため、次年度は内容をさらに精査していきたい。</p>
教職実践演習（中・高）	市毛 祐子	<p>この科目では、これまでの教職課程の学びを振り返るとともに、教育実習の体験を踏まえ、自分に不足している力を認識し、それを補うために理論と実践を往還しながら様々な演習を行ってきました。教職課程の集大成として、皆さんが各回の授業に関心をもち、意欲的に取り組み、討議やグループワークが活発に行われたことをとても頼もしく思っています。これから様々な問題に直面した時に、同僚と協働し、地域と連携して解決していくための一助になればと願っています。</p>
児童・生徒栄養教育論（2）	白尾 美佳	<p>皆さん方自身が成長を実感できてよかったです。栄養教育実習に向かって頑張りました。</p>
教育相談	櫻井 成美	<p>アンケートへの回答、ありがとうございました。</p> <p>全体的に、熱心かつ真面目に授業に取り組んでくださる学生さんが多かったです。1年ぶりの対面授業で直接話したり関わり合いながら授業ができたため、とても嬉しい時間でした。</p> <p>授業では教育相談に関する理論を講義で伝えることに加え、実践的な学びを深めるためのディスカッションや課題を行いました。熱心にディスカッションや課題にも参加し、学びを深めてくださっている学生さんが多いように感じました。また、ディスカッションを通して他の人の意見を聴けることが貴重な時間であったという感想も授業中に頂いています。</p> <p>今年度から100分の授業になり、時間的な余裕をもってディスカッションや発表が行えるようになったことも良かったと思います。長時間の授業ですので、今後も講義とディスカッションなどの主体的なワークをバランス良く行うなどの工夫をしたいと考えています。</p> <p>半期間の授業、お疲れさまでした。これからも教職の授業、頑張ってください。</p> <p>櫻井成美</p>
家庭科教育法（1）	市毛 祐子	<p>コロナ禍で様々な制約がある中、対面とオンラインという2つの形態で授業を進めてきました。どちらの授業形態においても、どうしたらもっと分かりやすく伝わるかを念頭におき、授業の内容やスピード、説明の仕方を考え、展開してきました。今後も、皆さんがより一層理解を深めることができるよう、双方向授業等のあり方について工夫していきます。</p>
教育方法・技術論（栄養）	柏崎 秀子	<p>全体的に平均かそれ以上の結果で、やりがいを感じました。</p> <p>この科目は、授業設計の基礎を学ぶ内容なので、模擬授業で体験的に理解してほしいと、ステップを積み上げていくようにしました。コメントから、皆さんにもそれが伝わっていたようで、うれしいです。</p> <p>本来なら、模擬授業に至るまでもう少し時間を取りたいところだったのですが、後期の金曜授業は諸行事の関係で授業日の間隔がまちまちで、その調整が難しいと感じています。</p> <p>この学びを来年度以降の具体的な授業設計に活かしてほしいと願っています。</p>

[2021（後期）教職課程] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
介護支援基礎論	柏崎 秀子	<p>全体的に見て、ほぼ平均前後の結果で、一定の水準だったとわかりました。ただ、授業スピードの点で改善が求められているようです。この科目は7回完結のため、コンパクトに様々な内容を取り上げるため、学生にはスピードが速く感じられるようで、もう少し取り上げる内容を絞り込もうと思います。コメントでは後半でより速い感じと書かれていたので、時間配分を見直したいと思います。</p> <p>説明はわかりやすくしっかりと理解できたとも書かれていたので、説明の仕方の基本は継続したうえで、あとは時間配分が課題ですね。また、来年度の介護等体験の理解が深まったり、必要な知識や視点を得ることができたとのコメントもありましたので、手応えを感じました。</p>
特別支援教育論	柏崎 秀子	<p>全体的に平均かそれ以上の結果で、やりがいを感じました。この科目は学ぶべき内容が非常に多いのに7回完結なので、かなり厳しい状況ではありますが、皆さんが頑張ってくれて学んでいたと嬉しく思います。新カリキュラムで初めて実施した科目でしたので、もう少し内容を絞り込んで簡潔に伝えられるよう、検討していきたいです。</p> <p>コメントに、資料がすごくわかりやすかったと書かれていて、嬉しいです。資料作りはこのやり方を継続していこうと思います。</p>
英語科教育法（3）	津田 ひろみ	<p>模擬授業は難しかったかもしれませんが、これがゴールではありませんから、来年の教育実習、さらにその後の教員としての活躍に少しでも役立てていただければ幸いです。グループで話し合い、さらに考え、自分の意見をクラスで発表した経験はこれからのような道に進んでも重要なことです。皆さん、頑張りましたね。お疲れ様でした。</p>
教育課程論	清田 夏代	<p>授業評価の結果については、概ね納得している。今後もより良い授業ができるよう、工夫していきたい。</p>
特別支援教育論	柏崎 秀子	<p>どの項目も平均以上の高い結果で、非常にやりがいを感じました。</p> <p>この科目は学ぶべき内容が非常に多いのに7回完結なので、かなり厳しい状況ではありますが、皆さんが頑張ってくれて学んでいたと嬉しく思います。新カリキュラムで初めて実施した科目でしたので、さらに工夫できたらと思います。</p> <p>これからの共生社会を生きるために、是非、学んだ内容を活かしてほしいと願っています。</p>
教育方法・技術論	宮脇 郁	<p>わかりやすい授業を心がけていますが、理解度、満足度ともにまずまずの評価をいただけてよかったです。ただこれに満足せずに、もっとわかりやすく、楽しい授業を目指していきたいです。この授業の一番の山場は模擬授業の実施ですが、模擬授業を実際に行うことで、授業方法が一通りわかったというご意見をいただけたので、やはり座学のみでなく実際に経験することが大事だと改めて実感しました。</p> <p>課題が多い上に模擬授業も実施してもらうということで、受講生の皆さんにとっては少し大変な授業だったのではないかとと思いますが、ほとんどの皆さんは欠席回数が少なく、課題もきちんと提出していて、とてもがんばっていたと思います。</p> <p>この授業は基本的には対面で、模擬授業はZoomで実施しました。実施方法のアンケートについては、皆さんからいろいろなご意見をいただきましたが、対面がふさわしいという人が割と多かったです。特に模擬授業については、Zoomでの実施は特有の難しさがあるので、対面の方がいいという考えの方がいらっしやいました。その意見はよくわかります。ただ一方で、今後は教育の情報化がどんどん進んでいき、ICTを活用した双方向授業の機会も増えてくることが予想されますので、在学中にこのようなZoomでの授業を経験しておく必要もあるように思います。コロナの感染状況も踏まえながら、今後の模擬授業の実施形態を考えていきたいです。</p> <p>皆さん半期の間ありがとうございました。</p>
家庭科教育法（3）	市毛 祐子	<p>実際に模擬授業を行うと、学習指導案どおりに授業が進まなかったり、自分の説明が思うようにできなかつたりなど、「教える」ということは、頭で考えていたよりはるかに難しいということを実感したと思います。と同時に、他の人の模擬授業から多くの気づきを得られたことでしょう。学習指導案の作成や、教材研究などで忙しかったことと思いますが、この授業を通じて、専門的な内容はもとより、課題をこなす上での時間の使い方や、優先順位のつけ方なども身についたことと思います。こうした気づきや学びをこれからの様々な場面で思い出し、活かしてくれることを願っています。</p>
家庭科教育法（1）	市毛 祐子	<p>コロナ禍で様々な制約がある中、対面とオンラインという2つの形態で授業を進めてきました。どちらの授業形態においても、どうしたらもっと分かりやすく伝わるかを念頭におき、授業の内容やスピード、説明の仕方を考え、展開してきました。今後も、皆さんがより一層理解を深めることができるよう、双方向授業等のあり方について工夫していきます。</p>